

「令和4年度予算で検討中の主な取り組み（案）」に対する区民意見募集の結果について

「令和4年度予算で検討中の主な取り組み（案）」についての電子メール等による意見募集の結果は、以下のとおりです。

1 意見募集区分

(1) 電子メール等

- ・募集期間 令和3年12月5日～令和4年1月4日
- ・人数 22名
- ・件数 111件

(2) 区民と区長のタウンミーティング

- ・日時 令和3年12月23日（木）18時半～20時
- ・人数 20名
- ・件数 22件

2 意見概要

① 人と人がつながり、新たな活力が生まれるまちへの取り組み

No.	区民からの意見	区の見解・回答
1	(平和事業) 「憲法擁護」について「憲法をくらしに生かす」ために何が大切なのか、行政、区民、それぞれにとって大事なことがわかるような取り組みをしてほしい。	宣言40周年の節目を迎えるにあたって、記念事業を行うなどとともに、身近なこととして捉えてもらえるよう、継続して周知を図っていく。
2	(哲学堂公園保存活用計画の策定) 今後も哲学堂公園の保全を進め、子どもたちの豊かな学び・遊び、大人の日常の癒しのために存続させてほしい。	国名勝指定された哲学堂公園の文化財的価値を後世へ継承し、適切に保存・活用することを目的として、保存活用計画を策定していく。
3	(電子商品券事業支援、商店街キャッシュレス化導入支援事業) キャッシュレス・電子化に対応できない区民への施策も必要である。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策として、国や都も、非接触型決済であるキャッシュレス(電子)決済を推奨しており、区としても区内商店街等のキャッシュレス化に向けた取組を支援している。 また、デジタル化が急速に進んでいく中で、区としては、キャッシュレス・電子化に対応できない区民に対して、説明会を開催する等、デジタルデバインド対策についても丁寧な対応を進めていく。

No.	区民からの意見	区の見解・回答
4	(中野駅周辺のまちづくり) 中野駅のエレベーターを早く設置してほしい。	既存の駅施設へのエレベーター設置は難しいため、令和8年末に完成予定の西口改札の整備にあわせて、エレベーターを設置する予定である。

② 未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまちへの取り組み

No.	区民からの意見	区の見解・回答
1	((仮称)中野区子どもの権利に関する条例の推進) 啓発活動については、色々な分野の区民、そして子どもについては、年齢にあった内容と構成で、また、学校の授業でも取り上げていけるようにしてほしい。	大人を対象としたものだけでなく、子どもの年齢や成長にあわせた普及啓発についても行っていく。リーフレットの作成や学校との連携など、様々な手法を検討し、実施していく。 また、学校の授業では、これまでも社会科や学級活動の中で子どもの権利について学習してきた。この度、策定される中野区の子どもの権利条例については、リーフレット等を授業で活用するなど、教育活動のさまざまな機会を捉えて子どもたちに周知していく。
2	(子どもの貧困対策の推進) 生理用品の学校での設置を進めて欲しい。	生理用品については、必要とする児童・生徒に対し、心身の状況などに配慮しつつ保健室において渡している。 今後とも、児童・生徒の健康面や指導面など様々な観点から学校と相談しながら、適切に対応していく。
3	(児童相談所の設置及び子ども・若者支援センター等運営) 児童相談所がしっかりとした体制で十分にその機能が果たせられることを期待しており、そのためには職員体制の強化が重要である。児童相談所の職員については、つぎはぎ勤務ではなくて、正規職員で継続して勤務し、夜間についても交代勤務ができる体制が必要と考える。 また、チームワークが必要な職場であり、開設時に職員を採用するのではなく、チームで準備を進めるべきだったのではないかと。	法に基づく配置基準を踏まえ、即戦力の経験者採用や任期付職員の活用等も行い、必要な職種、人員を適正に配置する。また、OJT等を通じた職員の専門知識、スキルの向上、必要な体制強化等により安定的な運営を図る。 なお、児童相談所の職員については正規職員中心の配置であり、児童福祉司は25名、一時保護所の児童指導員等は22名を予定している。会計年度任用職員については、一時的に職員体制を増強する必要がある時間帯の対応や保護児童の支援の充実を図る目的で採用、配置する。また、開設準備については、これまで職員が協力して進めてきたが、職員体制をさらに充実させるため開設時も採用を行うものである。

No.	区民からの意見	区の見解・回答
4	<p>(学校運営協議会・地域学校協働の一体的推進体制の構築)</p> <p>子どもの権利条約との関連でそれに沿って拡充されると良いと思うが、現在実質的にうまく機能しているのか。単に形だけのものになっていないか。</p>	<p>今後の学校運営協議会・地域学校協働の一体的推進により、地域住民等が子どもたちのために学校運営や子どもたちの成長をどのように支えていくか課題を共有し、当事者意識をもって関わり協議・実践していくことになる。子どもの権利を守ることは学校教育の基盤と考えている。</p>
5	<p>(ICT推進による教育環境の整備)</p> <p>「個別最適化」よりも少人数の安全な体制の中で集団学習する体験が小学生、特に低学年では大切である。タブレットによるドリルは学習ではなく訓練にすぎない。はやさ、効率を求めるのは教育ではない。</p> <p>機器にお金をかけないで、人にお金を使ってほしい。</p>	<p>タブレットの活用は、ドリル的な学習だけではなく、一人ひとりの子どもたちの興味関心に応じた、活動や学習課題を提供することで、主体的に取り組む「個別最適な学び」を目指している。また、あわせてこれまでの探究的な学習や体験活動等、子ども同士が協働しながら学習することも重視している。「個別最適な学び」と「協働的な学習」を一体的に充実させた新しい学びの実現を目指している。</p>
6	<p>(ICT推進による教育環境の整備)</p> <p>コロナ禍での教育について、公立と私立で学習用タブレットの活用状況の違いなどにより学力に差が生じていると思う。公立学校に通う児童・生徒の学力向上のため、補習などの取組をしてはどうか。</p>	<p>令和3年11月末には、各小・中学校の全クラスへ配信用のタブレットとルーターを配布し、家庭でもオンラインで授業を受けることができる環境が整備された。学習用タブレットを効果的に活用することで、個人差への対応も可能となったため、授業のわかりやすさが向上し、学力向上にもつながってきている。</p> <p>区で配置している講師による補習は、今後も実施していく予定である。タブレットの活用と対面授業を併せて行うことで、より質の高い教育を目指していく。</p>
7	<p>(妊産婦への支援体制の充実)</p> <p>かんがる一面接の際、全ての妊産婦に産後ケアカードを配付するよう検討してほしい。</p>	<p>かんがる一面接時に、全ての妊産婦に産後ケアカードを発行するよう改善を図る。</p>

No.	区民からの意見	区の見解・回答
8	<p>(妊産婦への支援体制の充実)</p> <p>以前、家庭に手があることを理由に産後ケア事業を利用できなかった。また、手があったとしても料理を頼みづらいなど、事情はそれぞれなので、希望するすべての人が簡易な手続きで産後ケアのサービスを受けられるようにしてほしい。</p>	<p>サービス利用時に必要となる産後ケアカードについて、かんがる一面接時に全ての妊産婦に発行することにより、速やかに事業を活用することができるよう改善を図る。また、産後の家事・育児支援については、令和2年11月から家庭の状況や本人の体調にかかわらず、利用できるよう改善済である。なお、手続きの簡素化についても、さらに検討していく。</p>
9	<p>(妊産婦への支援体制の充実)</p> <p>産後ケア事業での2人目以降は上の子を同行できない。一時保育とデイケアを同時に行えるよう検討してほしい。</p>	<p>現在、デイケアにおいて、委託事業者が未就学児のきょうだい児同伴での受入れを行った際の経費加算を行っており、一部の事業者では実施をしている。今後、より経産婦が産後ケア事業を利用しやすくなるよう検討していく。</p>
10	<p>(妊産婦への支援体制の充実)</p> <p>対象施設を増やし、産後ケア事業の予約が容易にできるようにしてほしい。</p>	<p>サービスを提供する施設の偏在や今後の利用状況を踏まえ、産後ケア事業を必要な時に利用できるよう検討していく。</p>
11	<p>(子育て家庭ホームヘルプサービス事業)</p> <p>子育て家庭ホームヘルプサービスの利用手続きは、直接事業者を利用申込するなど、簡便な運用としてほしい。</p>	<p>子育て家庭ホームヘルプサービスの予約手続きについては、区が委託した事業者にて電話にて直接申込をする形を検討している。</p>
12	<p>(子育て家庭ホームヘルプサービス事業)</p> <p>子育て家庭ホームヘルプサービス事業では登録者の条件などを区切らず、簡便な利用手続きとしてほしい。</p>	<p>子育て家庭ホームヘルプサービスは、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う病児保育事業の休止状況を踏まえ、利用ニーズへの対応及び利用者の選択肢の幅を広げるため、病気の子を預かる事業である点を踏まえたスキームとする予定である。</p>
13	<p>(子育て家庭ホームヘルプサービス事業)</p> <p>現状、中野区には病児保育の施設が少ないため、施設整備に取り組むべきではないか。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響に伴う病児保育事業の休止状況を踏まえ、利用ニーズへの対応及び利用者の選択肢の幅を広げるため、子育て家庭ホームヘルプサービス事業において、病気の子を預かる事業を実施することとした。施設整備については、今後の病児保育事業の状況を踏まえて、検討する必要があると考える。</p>

No.	区民からの意見	区の見解・回答
14	<p>(子育て家庭ホームヘルプサービス事業)</p> <p>子の病気の際の支援だけではなく、親が病気になった際の支援を増やしてほしい。</p>	<p>子育て家庭ホームヘルプサービスは、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う病児保育事業の休止状況を踏まえ、利用ニーズへの対応及び利用者の選択肢の幅を広げるため、病気の子を預かる事業として実施するものである。子どもの養育者が入院、出産などやむを得ない事由により子どもの養育が一時的に困難な場合は、子どもショートステイやトワイライトステイなどのサービスを利用することができる。</p>
15	<p>(児童館での一時預かり事業)</p> <p>保育園での一時預かりを利用していたが、普段遊びに行くことができない場で、普段から通園している子たちの集団に放り込まれる形なので、親子ともに心理的負担が大きく、子どもは5時間泣き続けだった。児童館の預かりなら、普段遊びに行ける慣れた場所で、特に決まった友達の輪がない状態で預かってもらえるので、安心感がある。より多くの児童館での実施をお願いしたい。特に、1歳以上の物心ついてきた子には大変ありがたい。</p>	<p>令和4年度は2施設で実施していきたいと考えている。事業の実施状況を踏まえ、さまざまなご意見を参考に、よりよい事業運営を検討していきたい。</p>
16	<p>(児童館での一時預かり事業)</p> <p>保育園の一時保育の予約が非常に取りづらい状況であるため、試験運用中の身近な児童館での一時預かり事業はとても助かる。1歳児からの預かりとのことだが、保育園入園前の0歳児の預かりもご検討いただきたい。特に産後は心身の不調が続くため、「1時間でも良いから預かって欲しい」という保護者は多い。家族の助けを得られない方は、産後に自身のケアを十分にできず、体調を崩してしまう。産後ケアの一環としても一時預かり事業の拡充をお願いしたい。</p>	<p>産後ご家族等のお手伝いが見込めない方に対しては「産後ケア事業」や「産後家事・育児支援事業」をご利用いただきたい。</p> <p>児童館での一時預かり事業は、事業の実施状況や、さまざまなご意見を踏まえ、よりよい事業運営を検討していく。</p>

No.	区民からの意見	区の見解・回答
17	<p>(児童館での一時預かり事業)</p> <p>イレギュラーに発生する育児や介護、保護者自身の通院のため、子どもの預け先に困ることがある。</p> <p>上の子が小学生、下の子が未就学児の場合、預け先が別々になる。所管を超えた預かりや、短時間なら理由を問わない預かりをお願いしたい。</p>	<p>保育園での一時保育も児童館での一時預かりについても理由を問わず、ご利用いただけるものである。児童館での一時預かりについては未就学児を対象としており、小学生についてはキッズ・プラザや児童館などを居場所として利用していただきたい。親族の看護などの際には子どもショートステイの利用が可能であり、また保護者自身の通院の際の預け先として、トワイライトステイの利用も可能である。</p>
18	<p>(児童館での一時預かり事業)</p> <p>出張中、他県で一時預かりを利用している。子育て先進区というなら、中野区以外の人も空いていれば利用可能にするとよい。二拠点生活など世の中の生活スタイルが変わっていくと思うので間口を広くできればよい。</p>	<p>保育園での一時保育及び児童館での一時預かり事業については、より利用がしやすくなるよう、事業の実施状況やさまざまなご意見を踏まえ、よりよい事業運営を検討していく。</p>
19	<p>(児童館での一時預かり事業)</p> <p>食事の提供がないので預ける時間帯に無理が生じる。部屋を区切る等、食事ができる方法を検討してほしい。</p>	<p>令和4年度の一時的預かり事業では、持参していただいたものを昼食として食べていただけるよう検討を進めている。なお、新型コロナウイルス感染症対策として児童館内での食事を禁止している間は、食事を可とすることは難しいと考えている。</p>
20	<p>(児童館での一時預かり事業)</p> <p>一時預かり中に保健師や保育士と相談ができるようにしてほしい。すこやか福祉センターで相談ができるが、一時預かりではないため子どもを見ながら話をするのは大変である。一時預かり中に専門知識のある方がいれば相談しやすくしてほしい。</p>	<p>児童館の一時的預かり事業は、養育者の一時的な用事の時に利用してもらうことを想定している。</p> <p>すこやか福祉センター等での相談の際、必要があれば職員が子どもの相手や見守りなどの対応を行っている。</p>
21	<p>(区立保育園における業務のICT化)</p> <p>区立保育園への導入前に、庁内に模擬環境をつくってテストし、作業負荷の実地計測を評価したうえで導入することを求める。</p>	<p>区立保育園への導入前に、職員向けの模擬体験会の開催をする等、導入による保育現場の作業負荷を発生させない方法を検討している。</p>

No.	区民からの意見	区の見解・回答
22	<p>(区立保育園における業務のICT化)</p> <p>システムの導入にあたっては現場の声を十分に聴いて検討を進めてほしい。システム導入により業務が増えたり、保育室を離れる時間が多くなったり、パソコン等が苦手なために業務の遂行に支障をきたす場合がないようにしてほしい。</p>	<p>システムの導入にあたっては現場の声を十分に聴いて検討を進めていく。導入を予定しているシステムはパソコン等の扱いが苦手な職員でも簡単に取り扱えるような工夫がなされているため、業務遂行における支障は少ないと考える。</p>
23	<p>(児童館の機能拡充等)</p> <p>児童館の貸し出しについて、登録や申請、基準が煩雑で利用しづらい。多くの子育て支援団体が利用しやすいよう、緩和を要望する。</p>	<p>児童館施設の貸し出しについて、児童館条例や児童館条例施行規則に基づき、地域の子育て支援団体が利用しているところであるが、利用方法について検討していく。</p>
24	<p>(児童館の機能拡充等)</p> <p>中野区には子連れのサークル活動などを開催できる場がない。区民活動センターは予約のハードルが高く、子どもに必須のおもちゃやマット等持ち込まなくてはならない。気軽に親子が気兼ねなく集まれるよう、子育て中の親が使いやすい貸し部屋を児童館もしくは区民活動センターに用意してほしい。</p>	<p>新たな機能を備えた児童館は、地域育成団体の支援を強化していく。スペースの活用については、今後検討していきたい。</p> <p>区民活動センターは地域自治の拠点として、地域住民の自主的かつ主体的な取組を各地域に組織された運営委員会が行っている。様々な世代が使いやすい施設運営を運営委員会と連携して検討していきたい。</p>
25	<p>(児童館の機能拡充等)</p> <p>児童館を週7日開館してほしい。全館、週7日が難しくとも、館ごとに休館日をずらすなど、子供の行き場がどこにもないという曜日をなくしてほしい。</p> <p>例えば、A児童館は日曜月曜休み、B児童館は金曜土曜休み 等。2歳児～中高生のための開館を考えると、火曜金曜は午後から開館 等。近隣自治体の状況も参考に工夫してほしい。</p>	<p>児童館の開館日の拡大については、引き続き検討していきたい。</p>
26	<p>(児童館の機能拡充等)</p> <p>施設を減らさないでほしい。少子化の時代だが、子供たちにとって、学校(保育園)と家以外のサードプレイスとして、イベントを楽しめたり、スタッフと交流できたりする場所であってほしい。自分も幼い頃に児童館で遊び、遊んでもらい、楽しかった記憶がある。自分の子どもたち以降の世代にも体験してほしい。</p>	<p>キッズ・プラザの各小学校への整備に伴い、校舎内で安心安全な放課後の居場所が拡充されている。キッズ・プラザ併設の学童クラブについての利用希望も高い状況である。</p> <p>児童館については、中高生及び乳幼児の居場所機能を拡充し、子育て支援や地域の見守り、ネットワーク支援機能を強化した運営をすすめていきたい。</p>

No.	区民からの意見	区の見解・回答
27	<p>(児童館の機能拡充等)</p> <p>基本機能として、乳幼児の保護者に寄り添った場所作りも期待する。渋谷区の施設ではオンラインでの予約時に悩み事を入力できるフォームがあり、当日は保育士資格を持つ職員さんが頻繁に話しかけてくださったり、スタッフがオムツ替えをサポートしてくださったりと、関わりが多く驚いた。中野区の児童館では、職員との関わりをあまり持てたことがなかった。声がけをいただけると児童館をより身近に感じ、相談できる・安心できる場と感じられる。</p>	<p>状況に応じたきめ細やかな対応を心がけているところであるが、乳幼児親子が安心してご利用いただけるような児童館運営に努めていく。</p>
28	<p>(児童館の機能拡充等)</p> <p>児童館の機能拡充を進めるために、児童館職員の増員および採用をしてほしい。児童館職員の平均年齢は50歳を超えている。ノウハウを継承するため、計画的な採用と人材育成を図ってほしい。</p>	<p>新たな機能を備えた児童館の担う役割、運営方法の検討などを進めるとともに、必要な職員配置と人材育成を行っていく。</p>
29	<p>(児童館の機能拡充等)</p> <p>児童館のスタッフの高齢化が進んでいる。他区のように、民間に委託するなど、若いスタッフを入れてもらいたい。</p> <p>ベテランのよさもあるが、子どもの動きや考え方についていけない場面もみられる。</p> <p>上から叱る、注意する、禁止事項を強調するではなく、共感し見守ってほしい。</p>	<p>子どもと子育て家庭に関する情報収集や職員研修を実施し、子どもの目線に立って、子どもたちが安心して利用できるような児童館運営に努めていく。</p>
30	<p>(児童館の機能拡充等)</p> <p>特に初めての育児をしている保護者が、離乳食が始まった時期に、他の同月齢のお子さんや先輩父母と一緒に食事ができる機会を作ってほしい。児童館が、雑談しながら悩みを相談しあえる場所となるとよい。週1回でもよい。</p>	<p>子育て期において、食事をとりながら交流する機会は必要なことと認識しているが、感染拡大防止対策として、児童館、子育てひろばでの飲食は当面の間ご遠慮いただいている。</p>

No.	区民からの意見	区の見解・回答
31	<p>(児童館の機能拡充等)</p> <p>児童館のイベントのお知らせについて、公式LINEを活用したらどうか。保護者が登録し、イベントや講座のお知らせが届いたり、休館日や開館時間等をわかりやすく案内することができる。導入の検討をお願いしたい。</p>	<p>より多くの方にお知らせが行き届くよう、さまざまな工夫を行っていく。</p>
32	<p>(プレーパーク活動団体等支援)</p> <p>プレーパーク活動が中野北西部に偏っているので、中野南西部、東中野、中央等の小規模公園でも実施できるような内容を検討できないか。また、シルバー人材センターへ委託できないか。地域交流や多世代交流につながると思う。</p>	<p>区内全域で地域に根ざしたプレーパーク活動が実施できるよう、子どもの遊びの補助や安全管理等を担う専門知識を有するプレーリーダー養成のための人材育成やプレーパークの普及啓発などを通じた活動団体等への支援を行っていく。</p>
33	<p>(プレーパーク活動団体等支援)</p> <p>地域の母親達がアルバイトとしてプレーパーク活動に参加できる仕組みづくりを検討してほしい。</p>	<p>各地区の特色・資源等を生かした地域に根ざしたプレーパーク活動を安全かつ安定的に実施できるよう、活動の担い手の育成や、活動に興味のある方への支援など、地域の方が参加できるプレーパーク活動を広げる取り組みを進めていく。</p>
34	<p>(プレーパーク活動団体等支援)</p> <p>施策がいずれ「地域に根ざした団体による常設プレーパークの開設」につながっていくことを望む。</p>	<p>プレーパークの展開に向けて、人材育成の支援や普及啓発などに取り組むとともに、プレーパーク活動の拠点となる施設の整備にあたり、周辺住環境への影響等の立地条件、活用可能性などを総合的に検討する必要があり、適地について全庁的な検討を進めている。</p>
35	<p>(プレーパーク活動団体等支援)</p> <p>都会でありながら、プレーパーク活動団体がいるのはありがたく、今後もっと支援を厚くすることを期待する。</p>	<p>自由な遊びの場の充実によって子どもの自主性や地域交流を促進させるため、区内でのプレーパークの展開について検討していく。</p>
36	<p>(若者育成支援事業)</p> <p>ハイティーン会議が単なる研究発表ではなく、実際に「子ども・若者分野の区政に関する提言」として扱われるような制度設計を求める。</p>	<p>ハイティーン会議を中高生が自らの意見を表明し参加する居場所とし、中高生が自主性・自発性をもって取り組む活動への支援や地域参加へ取り組めるよう支援を行っていく。</p>

③ 誰もが生涯を通じて安心して自分らしく生きられるまちへの取り組み

No.	区民からの意見	区の見解・回答
1	<p>(すこやか福祉センター等の整備)</p> <p>東中野から中部すこやか福祉センターまでが遠く、妊娠中及び産後赤ちゃん連れで所用で伺う時はとても大変だった。おかのうえ公園にある施設にもすこやか福祉センターの役割を持ってほしい。</p>	<p>区民活動センターは、地域住民による地域自治の活動や、地域活動の支援の拠点として機能する施設となっている。</p> <p>なお、すこやか福祉センターでは現在オンラインによる相談を行っている。</p> <p>また、新たなすこやか福祉センターを中野5丁目に整備する計画を進める。</p>
2	<p>(地域活動の再開・活性化支援)</p> <p>町会などへの補助を増やすことに反対する。町会に入っていない世帯が多くなっている。町会でくくるのはやめて様々な住民が行き来できるような場所に税金を使ってほしい。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により地域の活動に制約が生じており、地域のつながりの希薄化、防災力の低下等の危機感が高まっている。地域コミュニティにおいて中心的な役割を果たしている町会・自治会などの地域活動団体に支援を行い、地域の活性化を図っていく。</p>
3	<p>(認知症とともに暮らす地域安心事業)</p> <p>認知症には、コミュニケーションが大事であると感じている。認知症の人が家に引きこもらないように、地域での支援体制や認知症の普及啓発をお願いしたい。</p>	<p>認知症の初期の段階から適切な支援を受けられるように、地域の中に身近な相談や交流の場となる拠点づくりを進めていく。</p>
4	<p>(中央図書館予約室設置等工事)</p> <p>設備がよくなるよりも、資料の充実を望む。</p>	<p>利用者の利便性向上のため、予約室を設置するものである。同時に、資料充実の重要性も認識しており、今後とも十分に配慮したいと考えている。</p>

④ 安全・安心で住み続けたいくなる持続可能なまちへの取り組み

No.	区民からの意見	区の見解・回答
1	<p>(防災まちづくり)</p> <p>若宮地区は地震時の危険度が高く、「若宮地区防災まちづくり協議会」が開始された。新耐震基準以前の建物の強化が必要であり、耐火・準耐火の建物も多くないため、若宮地区へ不燃化促進区域に準じた「建替え促進」の予算計上の追加をしてほしい。</p>	<p>若宮地区の防災まちづくりについては、安全性の向上に向けて、地区計画による地域ルール導入の検討に取り組んでいる。今後、方策が具体化された段階で誘導策について検討していく。なお、震災時に危険性の高い地域については、現行の木造住宅建替え等助成制度を引き続き運用していく。</p>

No.	区民からの意見	区の見解・回答
2	<p>(防災まちづくり)</p> <p>所有者からの建替えを待つだけでは、不燃化は進まない。</p> <p>特に高齢者のみの住宅は耐震性が低くても建替える必要性がないため、高齢者住宅や都営団地への住み替えの促進をセットで行ってほしい。</p>	<p>建替促進については、建替助成などとあわせて、相談会の開催や相談窓口などを開設して進めている。今後は、それらとあわせて、福祉系の住宅などの情報提供なども行いながら進めていく。</p>
3	<p>(新井薬師前駅・沼袋駅周辺のまちづくり、野方駅・都立家政駅・鷲ノ宮駅周辺のまちづくり)</p> <p>いまの沼袋や野方が醸し出しているアットホームでのんびりとした賑わいが損なわれないまちづくりを求める。商店街はとても大事。どこにでもあるような駅前にならないようにしてほしい。</p>	<p>西武新宿線沿線各駅周辺のまちづくりについては、各駅周辺地区のまちづくり整備方針に基づき、それぞれの地区の特性を踏まえたまちづくりの検討を進めていく。</p>
4	<p>(東中野駅東口周辺のまちづくり)</p> <p>東中野駅東口周辺について、土地集約を行った上で再開発等を行うことにより、東中野の高いポテンシャルを生かしたまちづくりを進めるべきである。</p> <p>また、JRと共同で駅舎の建替えを行い、駅前広場の整備やバリアフリー化を図るべきである。</p>	<p>東中野駅東口周辺は、低未利用地が点在していることなど様々な課題があり、個別建替えでの課題解決は難しいため、市街地整備手法について検討しているところである。</p> <p>今後、地権者・居住者・商業者など、地域の様々な立場の方と意見交換を行いながら、まちづくりの方向性をまとめていく。</p> <p>また、検討にあたっては、JRとも連携していく。</p>
5	<p>(東中野駅東口周辺のまちづくり)</p> <p>東中野は、中央線・総武線沿線の桜並木が有名であるから、桜をモチーフにした街のデザインをお願いしたい。</p>	<p>東中野駅東口周辺については、地権者・居住者・商業者など、地域の様々な立場の方と意見交換を行いながら、まちづくりの方向性をまとめていく。</p>
6	<p>(東中野駅東口周辺のまちづくり)</p> <p>バリアフリー化は先行して取り組むべきである。</p>	<p>既存駅舎を活用したバリアフリー化は困難であることから、駅周辺地域のまちづくりの中で、駅舎改修の可能性と併せて検討を行う。</p>

No.	区民からの意見	区の見解・回答
7	<p>(無電柱化整備事業)</p> <p>中野区の道路は狭い。無電柱化を推進すれば、道路が拡幅され、車両と歩行者がともに通やすくなるはずである。またその際には、子どもの通学路など危険性があると考えられる箇所については、警察等とも連携し、取り締まりを強化してもらうなど、歩行者の安全性の確保と通行の利便性の向上の両立を図っていただきたい。総論として、可能な限りお金をかけず、工夫をすることで区民の生活環境をよりよくしていただきたい。</p>	<p>無電柱化整備事業については、実現すれば道路の幅員は確保できるが、一方で、無電柱化は難易度が高く、かつ、コストのかかる事業でもある。中野区においては狭小な道路も多く、埋設管が輻輳している路線もあり、技術的な問題により、整備を白紙に戻さざるを得なくなった路線もあった。継続して、最小の経費で最大の効果を挙げるべく、取り組んでいく。</p>
8	<p>(ゼロカーボンシティなかのシンポジウム)</p> <p>「ゼロカーボンシティなかのシンポジウム」について、ぜひ実施してほしい。気候変動対策は区政としてももっと真剣に取り組むべきだと思う。</p>	<p>区として気候変動対策について、今後さらに注力していく。</p>
9	<p>(高断熱窓・ドア助成事業)</p> <p>高断熱窓・ドア助成制度について教えてほしい。</p>	<p>住宅の省エネ化のために、新規に高断熱窓・ドア助成を始める予定である。助成制度の詳細は、今後ホームページ等で公表する。なお、国や都にも助成制度があり、区の助成制度と併用することが可能である。</p>
10	<p>(新型コロナウイルス感染症対策)</p> <p>より積極的に「人に関わる仕事」をされている方々、医療従事者、小中学校・保育園・幼稚園・児童館・学童クラブ、様々な福祉施設の職員の方々に、感染拡大が懸念される事態になった瞬間に定期的に検査を実施するような計画化をしてほしい。</p>	<p>東京都や民間事業者と協力・連携しながら検査体制を整える必要があると考えている。今後も引き続き、感染拡大・まん延防止対策の一貫として、必要な検査を必要時に受けることができるよう、取り組んでいきたい。</p>

⑤ 区政運営等に関する取り組み

No.	区民からの意見	区の見解・回答
1	(区ホームページのリニューアル) 全体的にホームページが見つらいので改修を希望する。	トップページのデザインや分類、検索性の向上やアクセシビリティへの配慮、スマートフォンへの完全対応など、現在の区ホームページはさまざま改善すべき点があると認識している。区民のみなさんにとって必要な情報が探しやすく、利用しやすいホームページとなるよう、令和5年度に向けて全面的にリニューアルする。
2	((仮称)公契約条例の推進) 早期の公契約条例の実現による業者への支援を求めたい。	(仮称)公契約条例を推進することにより、公契約に係る労働者の適正な労働条件を確保し、公契約の適正な履行及び品質の確保を図り、地域経済の活性化及び区民福祉の向上に寄与していきたい。

⑥ 検討中の主な見直し事業

No.	区民からの意見	区の見解・回答
1	(観光事業の見直し) 生活困窮した若者達にとってFREE Wi-Fiは必要不可欠である。FREE Wi-Fiサービスをなくすべきではない。	NAKANO FREE Wi-Fiは、海外からの来街者など、観光の促進を目的に設置したが、期待した効果が得られていないため、廃止する考えである。一方、生活に困窮している方などに対しては、中野区立図書館をはじめ、区有施設でFREE Wi-Fiが利用できる場所や条件を区ホームページ等でご案内したい。

⑦ その他予算編成全般について

No.	区民からの意見	区の見解・回答
1	コロナ対策については公助の責任と第6波の危険性を鑑み、全ての世代・外国人・諸組織(商工者等)への相談・支援を強化すべきである。また、その施策を大項目を立てて提起すべきである。	新型コロナウイルス感染症にかかる感染対策や経済・生活支援については、セーフティネットを基本に、影響を受けるすべての区民に、相談、支援を引き続き行っていきたい。 また、新型コロナウイルス感染症対策事業については整理し、予算案を説明する中で分かりやすく伝えていく。

No.	区民からの意見	区の見解・回答
2	<p>令和4年度は中野区長選・区議補選・参院選の年であり、コロナ対策を万全にしつつ、投票率を向上させる施策を小項目を立てて明示すべきである。</p>	<p>主な取り組み（案）については、基本計画で示す政策や区政運営に関する取り組みについて項目立てし掲載したところである。</p> <p>なお、投・開票所においては飛沫・接触感染防止対策を図り、有権者が安心・安全に投票できる環境を整える。また、各世帯に郵送する投票所入場整理券に同封する案内チラシへコロナ対策や期日前投票の活用等を掲載し周知する。</p>
3	<p>療育の場所を増やし、支援体制確保のための人件費予算をつけてほしい。</p>	<p>新規の民間障害児通所支援施設の誘致のための案内等に取り組んでいるところであり、令和3年度は5施設が新たに開設をした。令和4年度開設施設も複数予定されている。今後も待機者の解消に向け、積極的な施設整備の支援に取り組むと共に、区民の目線に立った、より丁寧でわかりやすいサービス利用のしくみについて引き続き考察していく。</p>

※同様の意見についてはまとめて表記しています。